

## 第五次白石市総合計画及び23年度 施政方針の運営方針について

制 野 敬 一



〔質問〕今定例議会に第五次総合計画と平成23年度の施政方針を示された。財政状況が厳しい折、どのように推し進めていこうとしているのか、伺いたい。

〔答弁〕【市長】地方自治体における財源の確保については、不透明な状況であり、当局としても徹底的な行政改革を行い、効率的な市民サービスを推進しながら、第五次総合計画の目標達成に向けて努力をして参りたい。

〔質問〕企業誘致による雇用及び、定住化促進を最重要課題として取り組まなければならぬと考えるが、今後新たに完成する工業団

地の見学会などの開催は考えているのか伺いたい。

〔答弁〕【市長】白石にとって、企業誘致による雇用の確保、定住化の促進は非常に重要な課題である。しかし、子育て支援や安全安心のまちづくりなども、「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」のためには取り組まなければならない課題であり、それぞれの課題を一つ一つ解決していくことが重要であると考えている。

企業に現地を見てもらうという方策は、有効な手段だと思っているが、今後検討した上で推進していきたいと思っている。

〔質問〕観光事業も、税収の確保には役立つと思う。今回、観光客にわかりやすい観光案

内を行うため、市内各所の案内板を統一しようとしているが、具体的な内容を伺いたい。

〔答弁〕【市長】観光案内がわかりにくいという指摘があり、これまで遊歩道ネットワーク事業や観光地の整備事業を活用して整備を図ってきた。また、本年7月から9月に実施されるポストDCで、白石駅、すまいるひろば、城下広場、白石城までの部分にのぼり旗をたて、観光客の誘導を確保してみたいと考えている。



駅前通りの様子

## 「産業振興策が成功するための10のポイント」について

沼 倉 昭 仁



中小企業庁は、産業振興に成功している自治体を調査して「市町村の産業振興策が成功するための10のポイント」をまとめている。そこで、「10のポイント」に従って伺う。

〔質問〕税収、出荷額、雇用などから、白石市がどの産業に依存しているかと分析しているのか、その上で「重点戦略」の必要性についてどのようにお考えか。

〔答弁〕【市長】どの産業も重要だが、工業は、製造品出荷額や従業員数などから、自主財源に大きく寄与していると考えられる。従って、第五次総合計画でも、企業誘致を重点戦略と位

置づけた。

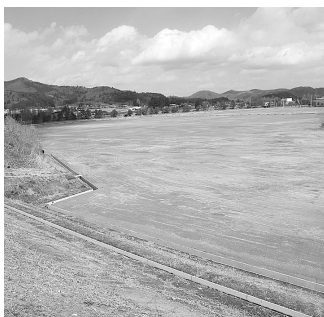
〔質問〕産業振興を具体的に担う「キーパーソン」の発掘や、外部の専門的な機関、国の制度なども活用しながら、伝統的な「公平性の原則」ではなく、個別産業・企業への「重点戦略」を通じた財政基盤の強化に切り替えることが必要だが、そのために、どのようにリーダーシップを発揮したのか。

〔答弁〕【市長】意欲ある企業への重点的支援の観点から、企業立地優遇制度を拡充し、県内のトップレベルの制度とした。

また、産業振興を担うキーパーソンの育成のために、宮城県産業立地推進課への職員の派遣を決定した。

〔質問〕新たな工業団地の造成には、計画づくりの段階から、立地・操業以後の継続的な事業サポートをペアで整備しておくと考えられているが、深谷の工業団地を造成するにあたり、どのような「サポート体制」を用意しているのか、また、「顔の見える」連携・ネットワークをどのように強化しているのか。

〔答弁〕【市長】ソフト面の整備として、企業立地推進課の設置、優遇制度の拡充、市内の企業訪問によるワンストップサービスの強化などがあり、新規の立地企業についても、同様のサポート体制に努めていきたい。



完成した福岡深谷工業団地